



議会だより

な か よ し



みんな



おもな内容

3月定例会	2
予算審査	5
一般質問（6人）	12
議会報告会・意見交換会	21
どっこい、この町に生きる	24

令和
3年度
予算

縮みながらも成長する町に

一般会計予算64億8549万円 (対前年度2億1650万円の減)

ここに注目

令和3年度 当初予算の主な事業

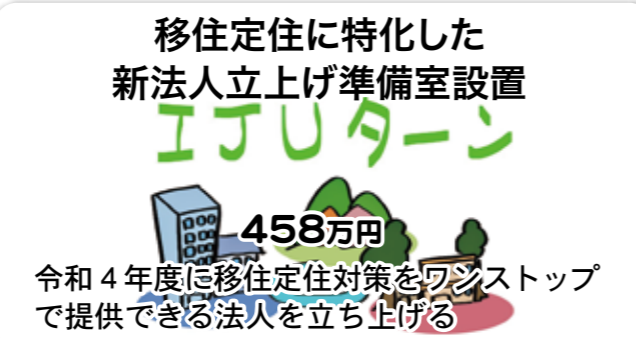
庁舎の発電機と空調機器工事



1億7943万円
停電時においても災害対策本部の運営や一時避難所としての機能を維持する

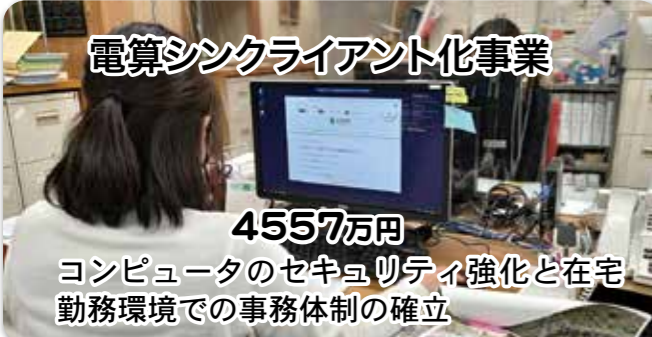
移住定住に特化した新法人立上げ準備室設置

ITUターン



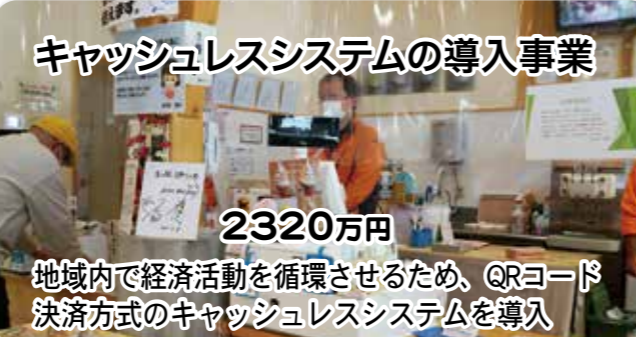
458万円
令和4年度に移住定住対策をワンストップで提供できる法人を立ち上げる

電算シンクライアント化事業




4557万円
コンピュータのセキュリティ強化と在宅勤務環境での事務体制の確立

キャッシュレスシステムの導入事業




2320万円
地域内で経済活動を循環させるため、QRコード決済方式のキャッシュレスシステムを導入

道路新設改良事業



1億円
生山印賀線、大菅阿毘縁線工事

コンテナ苗木生産施設整備補助



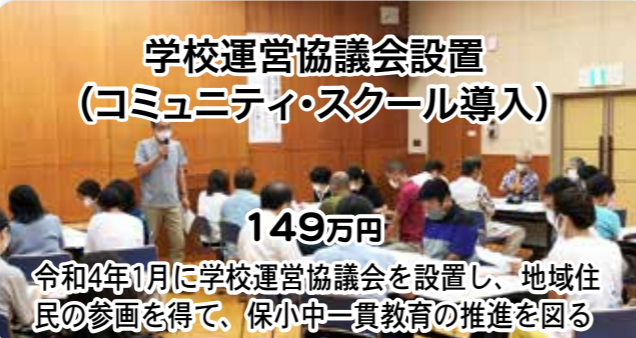
4814万円
安定的な苗木供給のため、コンテナ苗木生産施設整備(旧阿毘縁小学校跡を予定)を支援する

収入保険制度支援対策事業



100万円
農業収入の減少に備える収入保険への加入促進を図る(保険料の20%を補助)

学校運営協議会設置(コミュニティ・スクール導入)



149万円
令和4年1月に学校運営協議会を設置し、地域住民の参画を得て、保小中一貫教育の推進を図る

中村英明町長は、可能な限り住み慣れた地域で豊かに暮らし続けられる、「縮みながらも成長する」まちづくりに邁進すると令和3年度施政方針を示し、行政のデジタル化の推進、温室効果ガス排出ゼロを目指した「グリーンドリーム計画」の策定、新型コロナウイルス感染予防ワクチン接種に向けたわかりやすい情報発信をすと表明されました。

また、4月からは保育園を教育委員会所管とし、保小中の連携を図りながら、令和4年度の「幼保型認定こども園」の開設を目指します。

令和3年度 会計別当初予算額

会計	金額	前年度比較
一般会計	64億8549万3千円	△2億1650万3千円
国民健康保険特別会計	6億4070万2千円	△1333万6千円
介護保険特別会計	8億9773万1千円	△3828万2千円
介護サービス事業特別会計	5467万3千円	△1011万9千円
後期高齢者医療特別会計	9337万円	△471万5千円
再生可能エネルギー発電事業特別会計	1200万6千円	△3千円
簡易水道事業会計	2億3061万3千円	1667万7千円
下水道事業会計	2億5234万4千円	△457万4千円
病院事業会計	12億9338万3千円	△2億5794万6千円
合計	99億6031万5千円	△5億2880万1千円

日南町議会の3月定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。町長の令和3年度施政方針を受けた一般質問では、6人の議員が登壇し2日間にわたり活発な議論を展開しました。

執行部から提案された工事請負契約の変更、日南町小規模企業振興基本条例などの制定と条例の改廃、令和2年度各会計補正予算、令和3年度各会計当初予算など全39議案は原案のとおり可決しました。

予算審査は、議長を除く9人の議員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、担当課から詳しく説明を受けるなど深く審議した結果、9項目の審査意見を附して可決しました。(審査報告は6ページに掲載)

人事案件

教育長の任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、教育長の任命の同意について投票し、青戸晶彦さん(印賀)の任命に同意しました。

任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日まで



青戸晶彦 教育長

人権擁護委員候補者の推薦
任期満了となった入澤真澄さんの後任として安達俊夫さん(宮内)を適任と認めました。

議決した主な議案

条例の制定・改正

◆日南町小規模企業振興基本条例の制定
 日南町の事業者数の約9割を占める小規模企業の振興は本町の地域経済の発展にとって不可欠であることから、町民共通の認識として小規模企業対策の推進に取り組み、関係者と町民が一丸となって総合的かつ効果的に本町の地域経済の発展を進めるため、その基本的な方針を定める条例を制定。
 なお、この条例制定については、日南町商工会長より要望書の提出があり、議会が令和2年12月定例会において採択したものである。

◆日南町美術振興基金条例の制定
 町民が美術に親しむ環境の醸成を図るとともに、本町にゆかりのある芸術家などを顕彰するため、日南町美術振興基金を設置する条例。

◆日南町職員定数条例の一部改正
 保育園を教育委員会に移管することに伴い、職員の定数を改正する。

・町長の事務部局の職員 86人↓71人
 ・教育委員会の事務部局の職員 14人↓29人

3年度当初予算 もっとくわしく

過疎債ソフト分

問 2年度は十分な額を確保できなかったが、3年度はどうか。
 答 一次配分が8千万円、9千万円だが、その2倍くらいを国へ要望している。

三本松農場

問 県議会で審議中の無償譲渡の議案に「潜在型観光施策を推進することを目的に」とあるが、どう考えているか。
 答 具体的な進め方はまだ決まっていない。無償譲渡が確定してから話を進める。

役場の女性職員

問 男女平等を目指す必要があるが、現状と取り組みは。
 答 目標値はないが女性が少しずつ増えている。女性管理職を増やしていく。

生山定住促進団地

問 持ち家があり既に長期間定住している住民が

◆日南町国民健康保険条例の一部改正
 新型コロナウイルス感染症に罹患した被用者に支給する傷病手当金を支給する適用期間について改正する。(期間については規則で定める)

◆日南町介護保険条例の一部改正
 第8期介護保険計画期間(令和3年度から令和5年度)の介護保険料を改正する。

・保険料基準額 5700円(据え置き)
 ・保険料率
 第2段階 0.65↓0.75(軽減後0.50となりこれまでと変更なし)
 第6段階 1.15↓1.20
 第7段階 1.25↓1.30

補正予算

◆予備衛生一般事業 1128万円

◆国土調査事業 3282万円
 令和2年度国の第3次補正を踏まえた事業費の増額
 3地区 1.67km(茶屋1地区、霞2地区)

◆国土調査事業

◆財政管理事務 1億660万円
 平成30年度純繰越金2億1321万円のうち、地方財政法第7条の規定により、将来に向けた公共施設等更新経費を備えるため公共施設等建設基金に積み立てを行う。

工事請負契約の変更

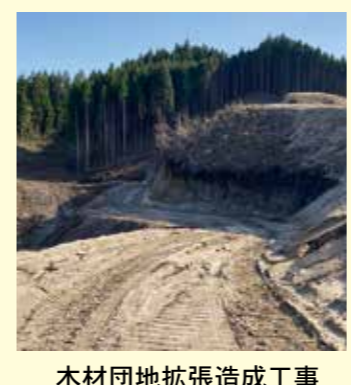
◆令和2年度日南町TOWN-SNET光化工事(第2期) 5億6578万5千円
 最終日に再度変更契約 5億6422万8000円

◆令和2年度日南町TOWN-SNET強じん化工事(第2期) 5404万3千円

◆日南町木材団地拡張造成工事 2億9966万9千700円

工事請負契約の変更に対する附帯決議

日南町木材団地拡張造成工事の変更契約を可決するにあたり議会の意見を附しました。
【意見要旨】 主な増額要因である根株等の処理については、設計段階で事業費に計上すべきであった。今後、事業費の積算においては十分に精査し、再発防止策を示されたい。



木材団地拡張造成工事

段階	改正後の介護保険料(令和3年4月から)		
	軽減後負担額(条例規定額)	保険料率	月額(円) 年額(円)
第1段階	0.30 (0.50)	1,710 (2,850)	20,500 (34,200)
第2段階	0.50 (0.75)	2,850 (4,275)	34,200 (51,300)
第3段階	0.70 (0.75)	3,990 (4,275)	47,800 (51,300)
第4段階	0.90 (0.90)	5,130 (5,130)	61,500 (61,500)
第5段階	1.00 (1.00)	5,700 (5,700)	68,400 (68,400)
第6段階	1.20 (1.20)	6,840 (6,840)	82,000 (82,000)
第7段階	1.30 (1.30)	7,410 (7,410)	88,900 (88,900)
第8段階	1.50 (1.50)	8,550 (8,550)	102,600 (102,600)
第9段階	1.70 (1.70)	9,690 (9,690)	116,200 (116,200)
第10段階	1.75 (1.75)	9,975 (9,975)	119,700 (119,700)

赤字表記は改正のあった部分

菅沢公園整備

問 なぜ菅沢なのか。トップダウンか。
 答 当面、既存の公園の改修をする。地域の要望ではない。

問 ドッグランは、犬ごうしのトラブルなどの恐れもあるが。
 答 ドッグランにこだわらず、より良い公園にする。

利用しても問題ないか。
 答 基本的には問題ない。

地域おこし協力隊

問 新しい取り組みが始まるが。
 答 いろんな角度から活用する。地域の人や企業人に入ってもらうのも良い。

問 地域内の経済循環をを目指す。高齢者が使えるカードタイプも可能。先駆的である。
 答 地域内の経済循環を目指す。高齢者が使えるカードタイプも可能。先駆的である。

新法人設立準備委員会

問 全体像は。
 答 地域商社的イメージ。町から委託もする。外国人の労働力も取り入れていく。役場を補完する形で進めていく。

商工会一般助成金

問 「一般助成」の考え方は。
 答 商工会の維持、振興が目的。

支え愛ネット

問 「元気なうちに住み替え」とは。
 答 基本的には地域で暮らす。状況に応じてサービス付き高齢者住宅、有料老人ホームなどへ住み替えるということ。

ウッドカンパニー

問 コンテナ苗事業の収支計画書は。
 答 確認している。

問 実施場所を阿毘縁に決定した要因は。
 答 日当たりや水の関係で決まった。
 問 製材所はどうなる。
 答 一部をグロウアース(施設園芸用培地)の製造施設にする。

森林経営管理計画

問 遅々として進んでいないが、進捗と達成の見込みは。
 答 8割程度が計画に入っている。まだ入っていないところを入れていく。多里が済んだ。2、3年度は阿毘縁。できるだけ早く実施する。

マイナンバーカード

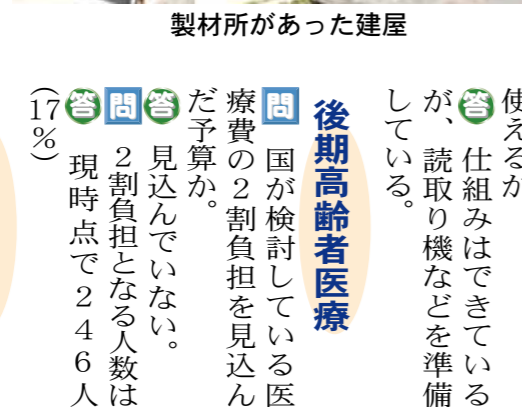
問 国保の保険証として使えるか。
 答 仕組みはできているが、読取り機などを準備している。

後期高齢者医療

問 国が検討している医療費の2割負担を見込んで予算か。
 答 見込んでいない。
 問 2割負担となる人数は。
 答 現時点で246人(17%)

小規模農家

問 「小規模」での成長は難しいの意味は。
 答 小規模農家の支援は続ける。長期的には規模拡大が必要ということ。



製材所があった建屋

日南病院

問 9千万円の基金取り崩しがあるが説明を。
 答 赤字を出さないために収入不足分の一部を基金から出している。存続のため町全体で支援したい。

令和3年度 当初予算一般会計・特別会計予算

討論

一般会計

〔反対〕 岡本健三議員

塵芥処理事業の西部広域行政管理組合負担金のごみ処理施設は、国の政策転換もあり施設の建設実現が不透明であり支出すべきでない。

〔賛成〕 坪倉勝幸議員

新型コロナウイルスに対する地方創生臨時交付金を活用した経済対策が盛り込まれているし、施政方針で総合的に述べられているように昨年までに定められた計画、方針を具現化していく年であり期待する。

国民健康保険特別会計

〔反対〕 久代安敏議員

国保財政が苦しいのは国庫負担金が少ないからである。全国知事会も国費一兆円の支援を国に要望しているが、実現していない。

〔賛成〕 荒木 博議員

2022年に子育て世帯に保険料の軽減について閣議決定されており国も十分対応している。日南町においても税収は減っているが、国保税は据え置きである。

介護保険特別会計

〔反対〕 岡本健三議員

新型コロナウイルス感染症対策のため、デイサービスやショートステイの一部が制限され、利用料や保険料の一部が値上げされる。介護給付金準備基金を利用し負担軽減を図るべき。

〔賛成〕 櫃田洋一議員

訪問型サービス事業、生活支援サービス事業により介護予防の推進、日常生活の支援、健康増進に積極的に取り組んでいる。

介護サービス事業特別会計

〔反対〕 久代安敏議員

起債償還に係る負担を日南福祉会に求めるべきでない。負担の在り方も不明確で曖昧、日南福祉会としっかり協議すべき。

〔賛成〕 岩崎昭男議員

日南福祉会は赤字決算であるが、以前よりは軽減し自ら経営改善を進めている。また、日南福祉会に対し中山間地域介護サービス確保対策事業補助金850万円を予算化している。

後期高齢者医療特別会計

〔反対〕 岡本健三議員

リスクの分散がしづらく、多くの方が年金で生活しており負担能力が低い人々を対象としている。

〔賛成〕 荒木 博議員

国民皆保険制度を維持していくべきである。所得の低い人には軽減制度が取られている。

○令和3年度 当初予算の賛否内訳（賛否の分かれたもの）

件名	結果	大西	古都	岡本	荒木	櫃田	岩崎	近藤	久代	坪倉	山本
		保	勝人	健三	博	洋一	昭男	仁志	安敏	勝幸	芳昭
一般会計	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
国民健康保険特別会計	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
介護保険特別会計	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
介護サービス事業特別会計	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	—

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、令和3年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長 久代安敏議員）を設置し令和3年3月3日から15日まで8日間開会。付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審査を行いました。その結果、いずれの予算も次の意見を附して原案を可決すべきと決定しました。

審査意見

住民参画まちづくり事業

交流活動活性化交付金に移住者誘致支援メニューを加えることになったが、交流活動活性化交付金に係る要綱等を整備され、交付金の対象となる事業や活動を明文化すべき。

商工総務一般管理事務

日南町キャッシュレスシステム導入事業は、本事業の目的、地域内経済循環による活性化を達成するために、実施にあたっては広く町民が利用できるよう発行及び行政ポイント付与等検討されたい。

公園施設管理事務

町民アンケートでは、子ども連れの家族が安心・安全で楽しく過ごせる公園の整備を求める声は多くあり事業の必要性は理解できるが、「犬温泉付きドッグラン付き公園」は、既にふるさと日南邑にドッグラン施設が開設されている。子どもの遊具の設置なども含めて将来を見据えた公園として幅広く町内外の住民に利用していただくために、計画の慎重な検討を求める。

環境保全対策事業

水質検査委託料（河川水の検査及び臨時水質検査）で、セントラル農場の排水が起因する検査費は農場が負担すべき。汚水問題が発生しなければ生じない費用であり、企業の社会的責任である。

支え愛ネットワーク構築事業

高齢者等見守りシステムを更新されるが、あらたに利用者から利用料（550円/月の負担を求める。このシステムは在宅での安心な生活を確保する手段であり、高齢者福祉の観点から利用者負担のあり方の検討を。

病院運営事業

日南病院の収益的収支の均衡を保つために一般会計から、従来の地方交付税算入額、地域医療総合確保基金繰入金等に加え、一般財源2895万円を病院事業会計に繰り出す。地域医療総合確保基金を取り崩して対応すべきだ。また、地域医療を支える日南病院の経営安定化のため、

めに、経営改善計画の策定と行政負担のあり方について議論を進めるべき。

教員住宅管理運営事務

教員住宅には現在教員以外の者が入居しており、所期の目的として利用されていない。現状に即した住宅として位置づけ、入居条件や使用料金を設定すべきである。

新法人設立準備室

移住定住相談や空き家活用の推進を図るために、令和4年度の独立機関設立に向けて準備室（新法人設立準備委員会）を設置して取り組まれるが、住居、就労、子育て支援など包括的に提案でき、期待する成果に繋

がる組織および事業展開になるよう鋭意研究、準備されたい。

青年結婚・U・ターン促進事業

新たにお試し暮らし支援補助金の創設、住宅の改修等助成補助金に加えて空き家改修に家財道具処分等補助金が増額されるなど、移住者等の住宅需要に応えるための補助制度が複数ある。移住希望者に分かりやすく整理し、住宅への補助制度の体系化と情報を一元発信すること。町が発行するリーフレットやホームページは、常にアップデートし助成制度の成果が上がるように工夫すること。



リニューアルした日南町のホームページ

条例の一部改正・意見書発議



日南町職員定数条例の一部改正

反対 岡本健三議員
小学校入学前の教育と入学後の教育は違う。教育課の教育を保育園に持ち込むことにより混乱を引き起こし心配。

賛成 坪倉勝幸議員
これまで以上に保小中の連携のなかで一貫教育は充実できる。

日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

反対 岡本健三議員
サービスの規定、責任も同様に負わされているが、扱いが違い職員の間に分断を持ち込むのは良くない。

賛成 古都勝人議員
制度が出来て日も浅い。全国での取り扱いを調査、研究し実態や様子を見るべき。

日南町介護保険条例の一部改正

反対 岡本健三議員
新型コロナの影響でサービスが一部縮小されたり、利用料も値上げしている。基金を利用し、保険料を値下げすべき。

賛成 大西 保議員
将来のため基金を残し、保険料は据え置きあるいは一部で少し上がるが、介護保険を続けるためには必要。

選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書

反対 荒木 博議員
男女の生理的な区別の問題であり、父子関係を明確に定めるとすることができるという合理的な根拠であり必要。

賛成 久代安敏議員
個人の尊厳を大切に選択的夫婦別姓制度は、第5次男女共同参画基本法の見直しでも議論されている。速やかに民法改正すべきだ。

○賛否内訳（賛否の分かれたもの）

件名	結果	大西保	古都勝人	岡本健三	荒木博	櫃田洋一	岩崎昭男	近藤仁志	久代安敏	坪倉勝幸	山本芳昭
条例の一部改正											
日南町職員定数条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	-
日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	-
日南町介護保険条例	可決	○	○	×	○	○	○	○	×	○	-
意見書											
選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出について	否決	×	×	○	×	×	×	×	○	○	-

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

条例の制定・一部改正
もつとくわしく



教育委員会へ移管される保育園

日南町職員定数条例の一部改正
問 保育園の保育士は学校教育法に基づく資格を保持されているか。
答 4年度から幼保型認定子ども園として運営する方針であるが、移行期間が設けられているため、学校教育法に基づく資格は現在必要ない。
問 保育園を教育委員会に移管する必要性は。
答 保・小・中連携をより強固にする。
問 教育委員会に室を新設されるのか。園長の位置づけは。
答 保育園は幼児・学校教育室のなかに位置づけ

日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 休職のときに給料を支払わないことになっていくが、具体的にどのような場合か。
答 心身故障や起訴により休職となった場合。
問 会計年度任用職員の休職について給料を支払わないのはなぜか。
答 休職についても支払をしない規定になっており、それに準じている。

国民健康保険条例の一部改正

問 事業主にも傷病手当金を支給するべきでは。
答 考えていない。

日南町美術振興基金条例の制定

問 基金積立の予定額はいくらか。どういう事業を行うのか。
答 (一財) 佐武会からの寄付金1200万円余を予定している。美術品の購入や絵画コンクールなどのソフト事業を計画したい。

工事請負契約の変更
もつとくわしく

問 介護保険条例の一部改正
保険料改定による影響額は。
答 1年につき、170万円



寄付を受ける佐武会の土地（豊栄）

問 タウンズネット光化工事
事業の進捗状況は。
答 97%完了している。

問 木材団地拡張造成工事
当初根柢、枝葉の処理費が積算されていたのか。
答 工事発注を早くするために、元々工事工種に入れていなかった。

第1回臨時会
1月26日

◆予防衛生一般事業
1334万円

◆道路維持管理事業
1億5800万円
降雪による町道及び県道の除雪委託料の増額。
◆予防衛生一般事業
新型コロナウイルスワクチン接種費用(医療従事者132人、高齢者2242人)及びシステム改修費用等の増額。

第2回定期監査の報告(要旨)

日南町監査委員
藤森高善・岩崎昭男

(1) 徴収方式の変更及び納税奨励金の廃止に関する事前周知について
令和4年度から町税の徴収を集合税方式から単税方式に移行し、納税奨励金を廃止する方針であるとの報告を受けた。
町民及び納税組合へ十分な事前周知を行い、未納や滞納の増加や納税組合の混乱を招かぬよう円滑な移行を図られた。
(2) 公営企業会計の業務支援について
簡易水道事業及び下水道事業において、決算の遅延や例月出納検査資料の誤謬があった。その対策として、9月補正予算で企業会計運営に係る業務支援委託料を計上した。しかし、定期監査時点においても業務支援委託料が締結されていなかった。早急に業務契約を締結し、迅速かつ正確な会計処理を図りたい。
(3) タウンズネット設備貸出料金の見直しについて
令和2年度にタウンズネット設備の全面的な更新と機能強化を図ったが、その際、通信事業者等への設備貸出料金の見直しがなされていなかった。事業者と貸出料金の協議を行い、適正な料金設定をされたい。

3月定例会審議結果

○可決した議案

令和2年度補正予算	一般会計補正予算（第12号）	その他	工事請負契約の変更について（令和2年度日南町TOWNS-NET光化工事（第2期））		
	国民健康保険特別会計補正予算（第5号）		工事請負契約の変更について（令和2年度日南町TOWNS-NET強じん化工事（第2期））		
	介護保険特別会計補正予算（第4号）		工事請負契約の変更について（令和2年度日南町TOWNS-NET光化工事（第2期））		
	介護サービス事業特別会計補正予算（第4号）		工事請負契約の変更について（日南町木材団地拡張造成工事）		
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）		教育長の任命につき同意を求めることについて		
	再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算（第1号）		人権擁護委員候補者の推薦にあたり議会の意見を求めることについて		
	簡易水道事業会計補正予算（第3号）		令和3年度当初予算	一般会計予算	
	下水道事業会計補正予算（第2号）			国民健康保険特別会計予算	
	病院事業会計補正予算（第5号）			介護保険特別会計予算	
	一般会計補正予算（第13号）			介護サービス事業特別会計予算	
国民健康保険特別会計補正予算（第6号）	後期高齢者医療特別会計予算				
条例の制定	日南町美術振興基金条例	再生可能エネルギー発電事業特別会計予算			
	日南町小規模企業振興基本条例	簡易水道事業会計予算			
条例の廃止	日南町消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例	下水道事業会計予算			
	日南町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例	病院事業会計予算			
条例の一部改正	日南町職員定数条例	発議		日南町議会委員会条例の一部改正について	
	日南町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例		「議案第34号工事請負契約の変更について（日南町木材団地拡張造成工事）」に対する附帯決議		
	日南町地域経済牽引事業の促進等に係る促進地域における固定資産税の課税免除に関する条例		○否決した議案	発議	選択的夫婦別姓の導入など、一日も早い民法改正を求める意見書提出について
	日南町地方活力向上のための固定資産税の不均一課税に関する条例				……賛否の分かれたもの（審査結果は7、9ページをご覧ください。）
	日南町国民健康保険条例				
	日南町介護保険条例				
	日南町被災者住宅再建等支援事業助成条例				
日南町介護福祉センターの設置及び管理に関する条例					
日南町認知症高齢者グループホームの設置及び管理に関する条例					

陳情の審査結果と討論

提出のあった陳情は、3月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。なお、賛成・反対とあるのは、陳情の原案に対する討論と採決の結果です。

令和3年陳情第1号	提出者	審査意見	本会議
日本政府が核兵器禁止条約への署名と批准をすみやかに行うことを求める意見書採択についての陳情書	平和行進日野郡実行委員会代表 福岡正純	唯一の被爆国として核兵器禁止条約の趣旨は理解できるが、核保有国の参加は望めず核廃絶に直接つながらない。	趣旨採択
反対 櫃田洋一議員 日本の安全保障を考えると、アメリカとの連携が重要であり慎重に検討していく必要がある。（大西・古都・荒木・櫃田・岩崎）		賛成 岡本健三議員 1月22日、核兵器禁止条約が発効した。被爆国である日本の署名・批准は必然。（岡本・近藤・久代・坪倉）	

2年度補正予算 もつとくわしく

歳入

問 地方交付税補正2億3577万円は特別交付税を含む最終的な額か。
答 普通分のみで確定額である。

問 過疎債ソフト分が9040万円に減額となっているがなぜか。
答 国からの配分額が減ったためである。

企画課

問 タウンズネット光化工事請負額減額の理由は、NIT電柱の利用や安価な資材を使用することによるか。
答 日野上地域振興センタートイレの改修工事を見送った理由は、地元と十分な協議ができていなかった。3年度に改めて協議する。

問 道の駅運営委託料の減額理由は、出荷量の減少などにより町内産品の取り扱いが少なかったためか。
答 具体的な体制は、保健センターも使い2レーンで行う。予約制とし、1日に160人、200人を想定している。

総務課

問 林業センター改修のための補助金が繰り越されるが、理由は。
答 現在工事が進められているが、事務の遅延や資材調達に時間を要している。

問 除雪機補助の実績は、2年度は6自治会か。
答 国の情報をもとに個人送付する案内文書やちゃんねる日南で広報する。多くの方に接種していただきたい。



冬場に出荷が減る町内産野菜

問 具体的な体制は、保健センターも使い2レーンで行う。予約制とし、1日に160人、200人を想定している。

問 ワクチンの効果、副反応を町民に丁寧に説明すべき。

福祉保健課



医療従事者への先行接種

問 新型コロナワクチンの接種体制は。
答 日南病院で集団接種をする。土・日曜日に医師2名体制で実施する。4月下旬から高齢者を対象に始める予定。

問 高齢者タクシー補助金の財源が過疎債ソフトから県補助金に変わっているが、県の補助制度の内容は。
答 小規模高齢化集落で交通空白地に居住する高齢者等にタクシー助成をする市町村に助成額の1/2を県が補助するもの。

農林課

問 鳥獣被害対策実施隊員が5月に退職しているがその後の対応は。
答 ホームページで広報していたが積極的な募集はしていない。

問 医療費扶助分が減少している。
答 生活保護扶助費減額の理由は、

歳出全体

問 一般会計で総額2億5653万円の減額となっているが、事業推進ができなかったのか。
答 執行実績により不用額を減額したが、予算見積もりが甘かったとは考えていない。

問 林業成長産業化モデル事業373万円の減額理由は。
答 県補助金が減額されたため。一部の事業は、来年度に行う。

問 多面的機能支払活動組織の広域化の状況は。
答 13組織が参加している。広域化のメリットが少なく広がっていない。

問 農業次世代投資資金の減額原因は。
答 新規就農者2人が離農したため。

問 農業後継者対策費593万円の減額理由は。
答 研修生を1名しか採用できなかったため。

問 2年度に再募集はしていないか。
答 林業成長産業化モデル事業373万円の減額理由は、

町政のここが聞きたい

問 県の立ち入り調査の日程は

答 3月中に出来るよう調整中である



大西 保 議員

問 日南町の活性化は

答 地域おこし協力隊員を活用



檀田洋一 議員

問 10月から酵素を投入している

答 2月末の報告はまだ受けていない。1月末で7500頭である。

問 2月末の飼育頭数は

答 議会の勉強会で、社長から現状の8500頭から減らすと表明されました。2月末の頭数は

問 設備機器の故障だけでなく、施設の老朽化と管理体制に課題があると感じている。

答 町長

問 今年に入ってから水質の悪化(泡・濁り発生)要因についてどのように感じられたのか。

答 濁りの発生源、浄化槽管理体制と更新計画、協約書締結の4項目に絞って話し合いを行った。回答の方向性については理解した。

問 セントラル農場の環境問題

答 12月25日に社長との面談で、町長として社長の回答内容についてどう思われたのか。

問 水質悪化の要因は

答 町長

問 調査日程は

答 県の立ち入り調査の日程は決まったのか。



セントラル農場から流出する汚水

問 知事との直接的な会話は無いが、県として協力すると報告があった。

答 町長

問 平井知事との話し合いは

答 新聞報道があり、知事は関係部署に指示を出されたと聞いているが。

問 県の立ち入り調査の中で、酵素の位置づけが出てくるので、場合によっては指示をしようと思っている。

答 町長

問 初年度方針の実績と目標は

答 検診受診率は、2年度30%、3年度目標値80%。ふるさと納税の2年度は、2592万円、3年度の目標額は6000万円。結婚件数は、2年度12件、3年度の目標は16件。

問 グリーンドリム計画

答 今年度の施政方針で、「温室効果ガス排出ゼロを目指す自治体」とあるが、今までの温暖化防止計画の取り組み、実績は。

問 「意見交換会」の位置づけは

答 議会から「河川の水質悪化に関する意見交換会」の位置づけについて問題提起しているが。

問 水質や設備管理、そして協約書締結に向け、関係者と県の参画による少人数での会議をもつ

答 町長

問 実証企画課長

答 音楽、ダンス、様々な文化に触れる機会を模索しながら進めていきたい。

問 馬頭琴鑑賞会

答 もっとモンゴルを知り、触れることができるイベントが必要であると思う。役場交流ホールでモンゴルの壮大な平原の映像と馬頭琴演奏及び、交流支援員ノミンさんの解説による鑑賞会など開催しては。

問 世界の動きを知っていくのは重要なキーワード。現在実施中の外国語活動、交流の重要性は認識しているが、組織化には少し時間が必要。

答 町長

問 日南町の国際交流は、平成元年のアメリカ・スコットバレイとの姉妹都市提携から始まっている。おろちマラソンでは、韓国・ソウルマラソンクラブ、そして現在アメリカ・シアトル・モンゴル・ゾーンモド市との交流があり、これらの交流の歩みを振り返ることができ、さらに思いを強くすることができ、国際交流に関する空間があれば、国際交流に関心を持ち勉強し世界へ旅立つ人材、ボランティアが育つと思うが。

問 地域おこし協力隊制度

答 二つのタイプがあり、日南町の行っている「職業型」と近隣市町村が行っている「フリー型」があるが、今後フリー型の検討は。

問 地域の中で役割を明確にしていく必要があり、今後フリー型も進めていきたい。

答 中村町長

問 交流の歩み

答 昨年、シアトルの中学生とオンラインによる交流を行ったが、時差の問題もある。

問 オンライン交流

答 コロナ禍の現在、オンラインで新たな可能性も出ている。GIGAスクール構想で一人一台の端末になれば、オンラインを活用しながら姉妹校提携への機運を高め、より一層盛り上がるが。

問 村上教育次長

答 町長

問 GIGAスクール構想とは

答 一人一台端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備。

問 ICT(情報通信技術)環境や先端技術を効果的に活用した「次世代の学校・教育現場」

問 モンゴル交流

答 モンゴル・ゾーンモド市と友好姉妹都市という目に見える形での表現が必要だと思う。役場庁舎に入った瞬間にゾーンモド市と友好姉妹都市だと感じる強いインパクトが必要だと思うが。

問 馬頭琴鑑賞会

答 現時点では、交流ホールのガラスケースの中に物品を展示している。

問 町民との関わりを継続することによって多くの町民に関係が理解されると思っているので地道に行っていく。

答 町長



ノミンさん(左)の交流活動

町政のここが聞きたい

問 まちづくり協議会条例を
制定すべき

答 条例化について調査・検討する



岩崎昭男 議員

問 企業版ふるさと納税に
期待するものは

答 プロジェクトへの投資と
人のつながりを期待している



近藤仁志 議員

問 移住・定住の相談状況は
コロナ禍により都市部を中心と

答 町長
町による財政的・人的支援は
欠かせない役割と考える。条例
制定については今後、調査・検
討する。
当面は既存の要綱等で柔軟に
対応・支援していきたい。

問 まちづくり協議会
条例の制定を

答 中村町長
防災対策、支え愛活動をはじめ
地域資源の有効活用に取り
組む内容が多く見受けられる。
要望額は日野上が40万円、阿
毘縁が29万円、大宮が62万円、
多里が229万円、福栄が54万
円。予算計上額も同額。

問 まち協5カ年計画
すべてのまち協で5カ年計画
が策定されたが、主な内容は、
また、財源となる交流活動事業
の要望額と予算計上額は、

答 町長
4月12日の週に500人分が
供給予定であり、下旬より土・
日、祭日を除き、経過観察場所、
待機、接種、経過観察場所、
一日の接種人数、人員体制など
のシミュレーションは、

問 コロナワクチン接種

答 町長
当面の間は冬期入所も必要で
あるが、年間を通じての住み替
えに移行する方向で、既存サ
ービスの活用と併用したい。

問 高齢者住宅の整備

問 道の駅の経営状況

答 町長
コロナ禍の中で、GoToトラ
ベルの効果と年間の経営状況、
アフターコロナの取り組みは、

問 個人版ふるさと納税

答 町長
2年度は、寄附金額37.4%
と高い伸び率となっているがそ
の要因は、3年度一層高い目標
を掲げられたが、取り組みの重
点は、

問 地域おこし協力隊員の
手当の引き上げを

答 町長
し地方回帰、田園回帰への関心が
高まっているが、町の状況は、

問 集落支援員制度の有効活用を

答 町長
これまでの主に農林業研修生
を隊員として採用してきたが、
今後は更に多種多様な人材を呼
び込む施策として活用したい。
手当の額は、隊員の職務の内容
により基準を定めたい。

問 移住者の住宅確保

問 企業版ふるさと納税

答 町長
今年度より、企業版ふるさと
納税に取り組まれたがその実績
と、企業に売り込むプロジェクト
の検討は、

問 移住者の住宅確保

答 町長
町営住宅や、空き家バンク制度
などにより対応しているが、移住
者にとっては慢性的な住宅不足状
態である。解消に向けて具体的対
策は、

問 教員住宅の活用を

答 町長
現在、教員住宅には教員以外の
者が入居している。現状に即した
住宅として位置づけ、入居条件や
使用料金を設定すべきである。

問 移住者の住宅確保

答 町長
町営住宅や、空き家バンク制度
などにより対応しているが、移住
者にとっては慢性的な住宅不足状
態である。解消に向けて具体的対
策は、

問 移住者の住宅確保



令和2年度 企業版ふるさと納税
日南町募集サイト

町政のここが聞きたい

問 日南福祉会に
施設利用料負担を求めらな

答 決算状況により
支払い猶予や免除の対応とする



久代安敏 議員

問 プラごみ法案の意味は

答 再資源化の新たな考えが
示された



岡本健三 議員

答 日南福祉会においては、令和2年度にコンサルタントによる経営診断が行われ、本年度決算では黒字が見込まれる。



日南福祉会は149人が働く町内最大の職場

問 特別養護老人ホーム「あかねの郷」
新年度予算で、指定管理者日南福祉会に施設利用料として負担金2790万円を求め、町の財源に計上している。
公設民営でスタートした「あかねの郷」設立の趣旨から根本的に見直し、日南福祉会と負担のあり方について協議を。



問 方針転換では
国の法律案では分別回収と

問 環境施策
町は可燃ごみ処理施設を県西部で一方所に集約しごみ発電する構想に賛成している。この構想ではプラスチックごみを燃やして余分な二酸化炭素(CO2)を排出する。一方で森林によるCO2吸収を唱えながら、他方で余分なCO2を排出するのは矛盾ではないか。

答 実行計画が必要であるアクションプランの策定が必要である。具体的に、実施内容や実施時期、実施方法を示していき、PDCAサイクルを機能させ実効性のあるプランにしていこう。また、

問 子どもの教育の在り方
令和3年度、保育園を教育委員会に移管し、一貫教育の柱となるふるさと教育の推進や保育と教育を一体化した幼児教育の充実、教職員・保育士の連携強化を進める。また、日南町子ども教育の在り方検討会の答申内容を踏まえた取り組みの推進も図っていききたい。

問 学校教育
使用料については、決算状況によりこれまでも毎年協議をしており、今後も猶予、免除あるいは一部免除等の対応としたい。

答 町長
新型コロナウイルスの陽性者が出ていないこともあり、現段階では実施について考えていない。

問 事業者の直接支援
新型コロナウイルス対策の第3次交付金1億円の半分弱を電算管理に充てる一方、商工業者への直接支援は限定的である。2回目の緊急支援金など直接支援を拡充しては。

問 新型コロナウイルス対策
64歳以下のワクチン接種は7月以降とされている。感染抑止のためPCRの社会的検査を積極的に進めては。

答 町長
国の法律案は一括回収してプラごみの減量と再資源化を目指すものでサーマルリサイクルとは関係ない。プラスチックに関する新たな考え方が示された。

答 町長
鳥取県の社会福祉施設等への補助金は、家族が緊急事態宣言地域を往來した場合に個別に検査するもので、定期的かつ全職員の一斉検査は、補助の対象とならない。町内で新型コロナウイルスの陽性者が出ていないこととあり、現段階では実施について考えていない。

問 PCR検査の拡充を
鳥取県の補助事業を活用して自己負担なしでPCR検査ができるよう財政支援を要求する。

問 役場の業務と人事管理
正規の職員に対する会計年度任用職員の比率が予算ベースで37%を占めている。役場の自治事務量の増加に合わせて新規職員採用の在り方を抜本的に見直す必要があると考えるが、どうか。

答 町長
これだけが子育て支援ではない。全体の中で支援を考えていく。

問 国保・子どもの均等割
国が2022年度に子どもの均等割を軽減するタイミングに合わせ、町として国以上の減免に踏み切っては。

問 情報公開
信頼回復のため、住民や議会へのしっかりとした情報公開のルール作りが必要では。

問 小原川の汚水対策
10月以降、汚水処理に酵素を利用しているが、7月以前の状態へ戻っていない。もっと根本的な問題があるのでは。

総務教育常任委員会

-2月5日・3月16日-

公共交通実証事業の結果 (企画課)

- ◆福栄地区で平日のダイヤ改正を行い11月2日から12月25日の日中において、ドアツードアのデマンドバス運行を実施した。
- ◆今回の実証実験をベースに町全体の交通体系を検討し、令和4年10月には、新たな公共交通体系構築を目指す。
- ◆町営バスの通学便(朝、夕、臨時便)を5路線同時に実施するのは困難であるため、令和3年度中に臨時便の取り扱いについて結論を出す必要がある。休日や午後6時以降の運行、タクシー事業についても併せて検討する。

日南町小規模企業振興基本条例(案) (企画課)

- ◆昨年度日南町商工会より要望のあった、小規模企業振興に関する条例の制定にむけて内容を検討。
- ◆条例の一部を再協議した上で、令和3年4月1日の施行を目指す。

コミュニティ・スクール組織図 (教育課)

- ◆学校運営協議会設置に向けて、にちなんCSサポート会議を行い、地域学校協働活動の体制を整える。
- ◆教職員の研修を行い、設置要綱やスケジュールの確認を行う。
- ◆名称を学び舎にちなん学校運営協議会とし、15名で構成する。
- ◆令和4年1月、教育委員会から辞令を交付し第1回学校運営協議会を開く予定とする。



ボランティアによる通学見守り

経済福祉常任委員会

-2月5日・3月16日-

木材団地水源調査事業の進捗 (農林課)

10月23日業務契約締結、掘削目標を150mとして、1時間5tを下限の条件にしている。

木質バイオマス発電事業の整備計画 (農林課)

令和3年12月売電開始の計画変更は伺っていない。企業立地奨励企業に認定されれば町の整備計画を立てる。

【委員会の意見】
事業の進捗には特段の注視を求める。契約にあたっては、後年度の管理についても契約書に盛り込むこと。

寒波による簡易水道断水の発生状況 (建設課)

1月7日から4日間異常低温による水道管、ボイラーなどの破損のため水道使用量が急増し、水位低下、濁水を招き町内4カ所で断水が発生した。上石見地区では受水槽配管破損があり、1月16日までに復旧が完了した。関係者の方には長期の断水となり不自由をかけた。

【委員会の意見】
遠隔管理システムの導入により早期発見、緊急対応に努められた。今後も復旧後の障害への対応も含め、高齢者にも分かり易い広報に努められたい。

居住施設における高齢者冬季入所の状況 (福祉保健課)

◆冬期の生活の場の相談・状況把握者数46人

施設名等	人数(人)
日南病院	19
あかねの郷	7
日南町短期滞在型専用住宅 ひだまりの家	6
有料老人ホーム つくほ	1
町外老人保健施設	2
町外親族宅	4
自宅	7

相談者の内訳は、要介護認定者28名、要支援認定者12名、認定無し6名

【委員会の意見】
以前からの案件であり、来年度以降の介護福祉計画で、冬期入所に限らず高齢者の住まいについて、しっかりと計画にあげ検討、実施されたい。

日南病院職員住宅建築状況 (日南病院)

工期 3月25日
4戸2階建て

職員住宅
現地調査



自治功労者表彰

令和3年2月17日、鳥取県町村議会議長会より、町村議会議員として21年以上の永きに亘り在職し、地方自治の振興に功績があったとして、久代安敏議員が表彰されました。



議会広報コンクール

毎年開催される第28回鳥取県町村議会広報コンクールで、日南町議会の広報紙が佳作として表彰されました。

選評では、「全体的に広報紙としてバランスのいい丁寧な紙面。インタビュー企画も読ませる内容で、佳作には十分な出来映え」との評価でした。引き続き、町民のみなさんに読みやすい紙面づくりに努めます。



表彰された議会だより158号

中心地域整備に関する調査特別委員会

-3月19日-

中心地域整備に関する調査特別委員会を3月定例会の会期中に開催し、以前から懸案となっていた日南プレカット事業協同組合への貸付地の賃貸借契約期限が、3月31日に迫っていることから進捗状況の説明を求めました。

冒頭、中村町長が3月末の契約期限に対して報告が遅れたこと、(株)パセオのソーラーパネル設置の契約書が無かったことについて謝罪をされた。

- ① 現契約は3月末で終了させる。
- ② 昨年11月、鳥取西部農協から継続使用の要望があり、4月1日付で、日南町と鳥取西部農協との間で土地の賃貸契約を結ぶ予定である。
- ③ 契約内容は3年1期の6年間契約。再延長も可能。転売、転貸はなし。
- ④ 公共用地として必要性があった時は、事前に通知をして明け渡しを求め内容を付け加える。
- ⑤ 4月1日付の契約内容は、少し交渉を残す部分はまだある。
- ⑥ プレカットの建物すべてを鳥取西部農協が一括購入する。
- ⑦ 建物の老朽化した箇所は、プレカットが修繕する。
- ⑧ (株)パセオの太陽光発電事業は、鳥取西部農協との契約で継続する。

町長の説明

議員の質疑

- 問** 施設の固定資産評価額は、958万円。
- 答** 契約の再延長も可能とのことであるが。
- 問** 公共用に使用する場合、撤去が発生した場合は、撤去する事を文面に入れる。
- 答** 町のこれからの計画には両者とも協力するとの言質がある。
- 問** 議会に契約内容の説明を求める。
- 答** 議会に説明する。



中心地域にあるプレカットの建物

全員協議会

議会報告会・意見交換会検討結果

令和2年度に開催しました議会報告会並びに意見交換会でいただいたご質問やご意見について、各常任委員会や特別委員会等で検討し、その結果をまとめました。
ご意見等がありましたら、遠慮なく各議員または議会事務局までお申し出ください。

1月19日
◆新型コロナウイルスの接種

新型コロナウイルスの接種にかかる体制、スケジュールについて説明を受け質疑。

◆養豚場の排水問題

12月に社長との面談、意見交換した後の執行部の対応について説明を受け協議した。

【議会意見】

・排水処理施設の改修
・飼養頭数の減数
・情報開示
・協約書の更新

4項目について進捗状況を管理監督できる体制を整備するよう求めた。
◆鳥取西部農協への要望書提出

支所再編に伴い組合員や町民の利便性が著しく低下しないように尽力を求め、要望書を町長と連名で提出することを決定。

2月16日

◆新型コロナウイルス感染症にかかる経済対策
第1次・2次臨時交付金

金対応事業の進捗状況および第3次臨時交付金の取り扱いについて説明を受け質疑。

◆選挙公営にかかる意見募集

制度導入に対して町民から23件の意見が寄せられ、賛成・反対がおおむね半々であった。引き続き検討することに。

◆養豚場の排水問題

飼養頭数の推移、排水の水質状況およびオルガノ(株)が行っている排水維持管理について説明を受け質疑。

◆旧木下家活用の事業コ

ンペ
旧木下家の活用に向けた事業提案公募について説明を受け質疑。

3月17日

◆寄付採納について

3件の寄付を受けることについて説明を受けた。
①鳥取西部農協より阿毘緑会館の内、旧阿毘緑支所部分。
②相続財産管理人より霞地内の宅地591㎡。

議会放送

問 江府町はユーチューブで議会放送が見られる。日南町はどうか。
答 今後、検討していく。

議会の役割

問 議会の町行政の監視対応が重要になりつつある。
答 町民の負託に応えるよう努める。

議会報告会の開催日時

問 ・農繁期を過ぎれば、休日、昼間でもよい。
・平日の夕方、夜の開催を希望する。
・女性、若い人の参加が少ない。
・地域ごとに開催するのは大変なので、町全体で1回あれば良い。
・希望する日時は個々に異なるので、来て欲しい人を決めて、議会が計画してすれば良い。
答 次回開催の参考にさせていただきます。

③(一財)佐武会より預金1200万円余、債権奨学金122万円、土地36㎡、美術品29点。

◆日南町認知症グループホームの利用料

日南町認知症グループホームの食事提供体制や共益費の区分見直しに伴い、利用料金を改定することについて説明を受け質疑。

◆JR生山駅の体制変更

生山駅の無人化に伴い、遠隔システムコールセンター、きっぷの購入、変更、払い戻しができる「みどりの券売機プラス」設置について報告を受ける。

◆木材団地拡張造成工事
現在進めている木材団地拡張造成工事について伐採した木の根株、枝葉の処分費が増額する旨の説明を受け質疑。

◆(株)ウッドカンパニーニチナンの施設利用

製材所跡に大建工業(株)がグロウアース施設園芸用培地製造施設を設置するとの説明を受け質疑。

3月24日

◆条例等の一部改正

現在国会で審議中の法律の改正に伴い影響を受ける条例例、固定資産評価審査委員会条例を専断処分により、一部改正することについて説明を受け質疑。



設置予定の券売機

町有財産

問 道の駅レストランの増築など投資が回収できるのか。改修に対してリターンが計算されていない。(費用対効果)
答 民間に比べて、町の施設は優遇されている。

問 町として活性化施策の中で建設から取り組んでおり、作った施設がまちづくりの中に活かされるよう対策をとっている。

観光事業

問 日南町は、元々観光地ではなく観光と土産物とのつながりができていない。観光のターゲットはどこにするか。
答 観光の実態を調査して検討する。

移住・定住

問 移住者のターゲットを誰にするのか。若い人が必要。
魅力がない。若者にアピールできるものがない。職種が選べない。サービスが少ない。賃金が低い。すぐ住める家が少ない。

答 農林業の新規就業者や日南病院、日南福祉会などの福祉関係の職場を求める若い人が多い。すぐに住めるような住宅の整備が急務である。

婚活事業

問 婚活で成果が出ている。続けて欲しい。
答 継続している。

議会活動報告

(2月)	5日 総務教育常任委員会 経済福祉常任委員会
16日	全員協議会
24日	議会運営委員会
(3月)	2日 3月定例会本会議 議会運営委員会
3日	3月定例会本会議
4日	予算審査特別委員会
5日	予算審査特別委員会
8日	予算審査特別委員会
9日	予算審査特別委員会
10日	3月定例会本会議(一般質問)
11日	3月定例会本会議(一般質問)
12日	予算審査特別委員会
15日	議会議決特別委員会
16日	議会議決特別委員会
17日	議会議決特別委員会
19日	中心地域整備に関する調査特別委員会
24日	3月定例会本会議 全員協議会
(4月)	5日 議会広報常任委員会
9日	議会広報常任委員会
13日	全員協議会
14日	議会広報常任委員会

職員採用

問 町職員の縁故採用はないのか。町外からの職員が多い。町内にいた職員も町外に出て行く。
答 職員の縁故採用はない。西部地区の共通試験合格者の中から採用している。

地元業者

問 町内で購入可能な商品は、地元の商店で買って欲しい。県内の市町村では、地元業者優先で購入している。
答 日南町の当初予算で計上されている備品等の購入実態を調査して検討する。

小規模企業振興

問 小規模企業振興に関する条例を制定してほしい。
答 3月定例会で、日南町小規模企業振興基本条例を制定した。

空き家撤去

問 空き家の解体撤去がすすまない要因に、更地にすれば固定資産税が6倍になるといふことがある。一般的な宅地なら1万円程度であるが日南町は特例により10年間は税の減免措置がある。恵まれた条例であるが、町民への周知が足りない。廃屋の解体が進めば解体業者の収入も増加する。更地バンクも検討すべきではないか。

答 減免措置要綱の周知を図る。また、更地バンク制度についても検討していく。

2回のインターシップを行い、学生の進路決定に役立てている。研修年限は、入学希望者の年代層を考慮して、より早く就業できるよう決定されたものである。

コンテナ苗事業

問 スギ、ヒノキなどのコンテナ苗は、どこで生産するのか。

答 町内で4カ所の候補地をあげて検討されたが、旧阿毘縁小学校跡に決定した。ウッドカンパニー(株)が年間12万本の苗木生産を事業化する。

林業

問 日南町の林業は補助金頼みなので材価を高くして山主が儲かる仕組みにならないか。

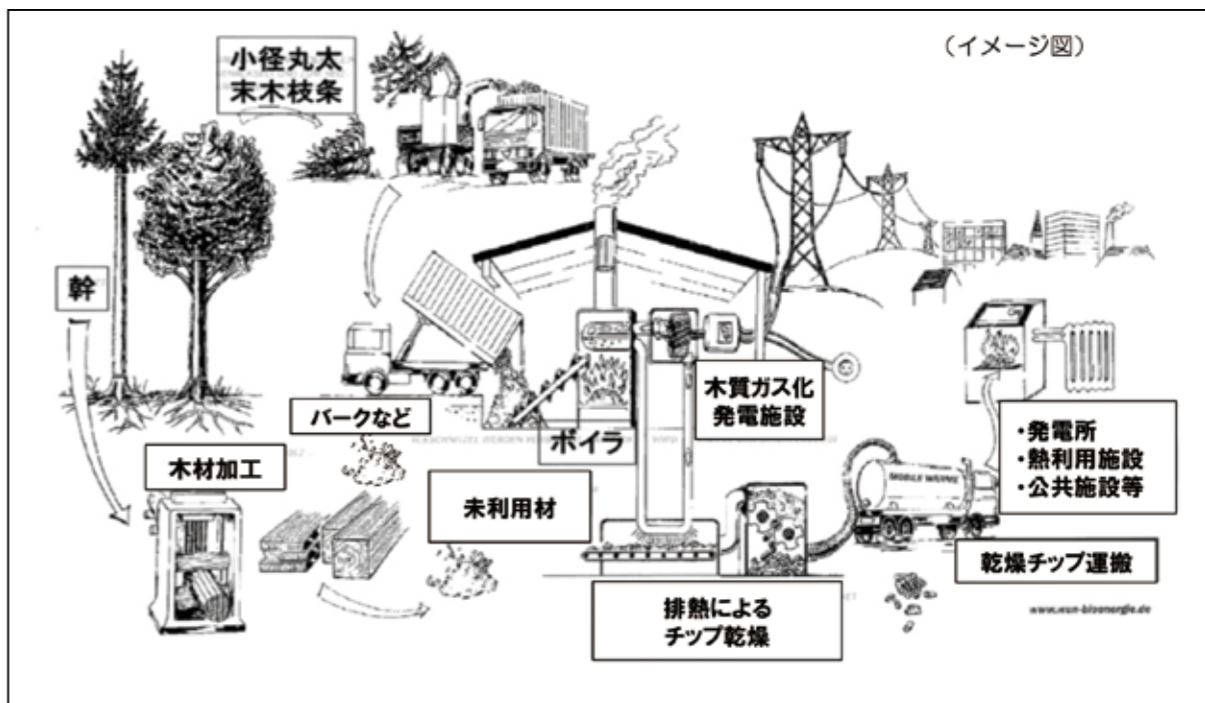
答 材価は市場で決定するもので、近年価格の低迷が続いている。オロチや日南大建の木材加工所もあり、需要が伸びており希望は持てる。

問 ウッドカンパニー二チナン(株)は製材事業を中止したが、林業の町には製材所が必要では。

答 臨時の株主総会で休業を決定された。再開するには場所や事業規模などの再検討が必要。

問 第2木材団地に計画の中の木質バイオマス発電事業の内容を説明して欲しい。原料が不足した場合、町外から確保するのか。端材、短コロ、枝葉や建設廃材の利用はできるか。

答 バイオマスガス化発電(500キロワット)により発電した電力を、FIT(固定価格買い取り制度)により中国電力に20年間単価40円/キロワット時で販売する。日南町森林組合も事業に出資しており、中心となって原料の供給を行う。端材、短コロなどは集積できたら利用できるが、建設廃材は使えない。



スマート農業

問 スマート農業など若者が興味を持ち、日南町に残りやすい土台づくりを推進して欲しい。

答 スマート農業など農業の魅力向上は、国、県の制度を使い進めていく。子どもたちに先進的な農業を体験させるなど食農教育を進める。

農地管理

問 現状は、条件の悪い圃場も無理をして小作している。農地を守るには、かつて整備された圃場の再整備が必要である。



農地維持に欠かせない水路管理

答 不良圃場の再整備は、農地維持や作業効率向上、スマート農業の推進には必要である。

問 守る農地と諦めざるを得ない農地を決めないといけない。

答 守る農地の線引きは必要と認識している。地域の人・農地プランの話し合いを進めていただきたい。農業委員会にも話し合いの促進を求める。

問 「これ以上の規模拡大は無理」という法人が多い。その要因として、乾燥・調整と育苗の限界に起因する声がある。

答 法人の連携も考慮し

ながら、体力の強化とスケールメリットを追求し、国、県の制度の活用が課題解決に求められる。

問 大型農家のはざまを埋める兼業農家も守らないと、法人の負担が増える。

答 小規模農家も対象となる中山間地域等直接支払や、町の意欲ある農業者支援事業の活用を奨める。

小作料

問 日南町の小作料は統一されていない。山寄せなど低反収圃場も他所と同じ小作料を要求されている。統一した指針を示して欲しい。

答 小作料の統一は、条件の違いなどから難しい。人・農地プランや農地利用最適化の中で協議したくなるよう農林課、農業委員会に働きかける。

食育・農業体験

問 学校の食育で食料の安全保障を教育してほしい。現在の農業体験学習

も、昔ながらの手作業ではなく、現代的な機械化された農業の体験を取り入れて欲しい。

答 自給率の向上や多面的な機能についての教育、さらに機械化された農業の体験を進める必要がある。

雇用・人材

問 法人として新規雇用するには、社会保険料など福利厚生充実と年間雇用でないと応募がない。それには冬場の仕事が必要である。

答 令和3年度より「担い手育成対策事業費補助金」で社会保険料掛金助成を行い、会社負担を軽減し、担い手確保による規模拡大や技術の継承等を推進する。通年雇用には、他業種との連携による特定地域づくり事業の取り組みなどを推進する。(半農半X)

トレーニング施設

問 トレーニング施設が

欲しい。

答 町民アンケートでも要望があり、中心地域に建設する構想はあるが具体的に進んでいない。ランニングコスト等や建設の是非も含めて検討が必要である。

子どもの遊び場

問 子どもの遊び場が欲しい。中心地域のプレイロットは誰が管理しているのか。遊具を増やして欲しい。

答 プレイロットや既存の公園の整備も含めて、子どもの遊び場について検討する。



中心地域にあるプレイロット

道 どっこい、この町に生きる 草

魅力発信、「自然の中で仕事はどうですか」

ひらおが
平岡

じよよき
良基さん

(東京都)

いうち
井内

たけと
宗人さん

(大阪府)

印賀に移住して(株)ファーム
イングで、活躍されている二人に
話を伺いました。



平岡さん
国の機関である、
日本司法支援セン
ターに勤務してい
ました。

米子の祖母が高齢で、つきつき
りの介護が必要になり、両親が南
部町に移住。そんな両親の苦勞を
サポートしたくて自分も移住を決
断しました。

井内さん 高校卒業を控えて進路
で迷っていた時、農業人フェアに
参加。農業は3Kと言われるが、
それよりやりがいのある職業と感
じて農業に関心が湧き、鳥取県立
農業大学校へ進学を決めました。

平岡さん 東日本大震災の時、店
から食べ物が無くなり食の大切さ
を痛感したこともあり、「農業を
やってみたら」と、親の勧めが決
め手となって農大のアクリチャレ
ンジに参加。その中にファームイ
ングで三日間の研修が組まれてお
り、岩田社長の人柄と米や野菜作

りを体験して、いいなあと感じた
のでここに就職しました。

井内さん 農大の就職説明会でフ
アームイングの社長と話す機会が
あって、もっと知識や技術を磨き
たかったのでここを選びました。

仕事は一生懸命。休みは和気あ
いあいとメリハリがあって楽しい
職場です。

平岡さん 一人一人の裁量で栽培
を任せてもらえるのでやりがいを
感じているし、これから大切な役
割を担っていく可能性があるのが
魅力的かな。縁あって勤めた会社
なので、仕事を覚えて責任者とし
て今後もここでやっていきたい。

井内さん



将来は農業をメ
インにプラスαの
何かを加えた形態
での独立就農もあ
りかな。

平岡さん 社内ベンチャーのよう
な形で消費者のニーズを調べ、秋
冬に栽培できる品目を勉強して周
年栽培ができれば面白いと思う。
井内さん 自然を求める人、自然



トマト栽培にむけハウス準備作業

の中でやりたい人は増えている。
フリーランスの方も増えている。
テレワークのできる環境を用意し
て「自然の中で仕事はどうです
か」とアピールしたら面白いので
は。

平岡さん 「日南米使っています」
と書いてある飲食店は結構あるの
に、日南のことを知らない。美味
しい米やトマト、それを作りだす
自然をもっとアピールして欲しい。

編集後記

戦後初の衆院選は1946年
4月10日に実施され、39人の女
性議員が誕生した。全当選者の
8.4%である。それから75年、衆
院の女性議員比率は現在9.9%。
75年間の停滞の理由を女性のや
る気や能力に求めればそれは明
白な差別である。やる気や能力
は女性・男性とも同じであると
の前提に立てば、何が問題か誰
にでもわかる。

町でも女性議員は現在ゼロ、
役場も女性管理職は圧倒的に少
ない。性別によるアンバランス
を是正するために一層の努力が
必要である。

岡本 健三 記

発行責任者

議長 山本 芳昭
議員 長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長 樺田 洋一
副委員長 岩崎 昭男
委員 岡本 健三
近藤 仁志
久代 安敏
坪倉 勝幸